

福島民報新聞 令和二年十一月十三日(金)版より
十一月十一日(水)に実施しました「出張鑑賞授業」を、新聞紙面で紹介していただきました。

名作展に 合わせて 出張芸術講義 山都中で



生徒の山都中へ傾ける説明の芸術学

喜多方 県立美術館と喜多方市美術館による出張鑑賞

県立美術館と市美術館

賞授業は十一日、喜多方市の山都中で行われ、生徒が芸術作品の魅力に触れた。

喜多方市美術館で十七日まで開催中の県立美術館移動美術館「世界の名作展」に合わせ、

両美術館が企画した。約七十人の全校生が受講し、両美術館の学

芸員が講師を務めた。ピカソの版画をはじめ、名作展で展示されている作品の特徴についてスライドを使いながら解説した。小川芋銭(おがわ・うせん)や酒井三良(さかい・さんりょう)ら山都の

風景や人情に魅せられ、この地で創作活動に取り組んだ画家を紹介した。生徒それぞれが気に入った作品を選ぶ「アートカード」ゲームを通じて、芸術への関心を高めた。

先月の修学旅行に続き、本校の学校行事を紹介していただきました。

本校生が真剣に話を聞いて学習する様子を、多くの方に伝えていただけることは、たいへんありがたいことだと感じています。

また、このような機会を通して関心を持っていただいていること多くの人に支えられていることなどを感じることができるとは思いません。

生徒の感想には「美術館へ行って、紹介していただいた作品を見てみたいです。」「あまり興味がなかったけれど、お話を聞いて美術に興味が出てきました。」「山都町がこんなにも芸術と関わっていることを初めて知って感動しました。」「といった表現がありました。芸術の味わい方を知らないどんな名画と出会っても、感動して心が豊かになることはないかと思いません。

それに加えて、具体的に地域のよさを知ることができたので、郷土を愛する気持ちも高められました。たいへん意義のある行事になったと感謝しております。

喜多方市立山都中校長